

よくある質問



詳しくは、プラスチック類ごみ分別ガイドをご覧ください!▶

Q. これまでの指定収集袋は今後も使えるの？

A. 当面の間、これまでの可燃ごみ袋(黄色)は「可燃ごみ」に、不燃ごみ袋(ピンク色)は「不燃ごみ」と「プラスチック類ごみ」の指定収集袋としてお使いいただけます。

Q. 今までのごみ袋は、黄色とピンク色で色分けされていてわかりやすかったのに、なぜ一色にしたの？

A. 指定収集袋の安定供給を行うとともに、グリーン購入法に適応(再生原料 50%)し、資源循環に貢献できる環境配慮型のごみ袋を採用したため、現在の青色となりました。

Q. 新しい指定収集袋は、近隣の自治体のものと色が似ていて紛らわしい。

A. 指定収集袋の取扱店では、近隣の自治体(調布市等)の指定収集袋も同時に取り扱っている場合があります。狛江市の指定収集袋は平袋式で、袋の外側に大きく「狛江市」と記載されています。調布市の指定収集袋は同じく青色ですが、ロール式で販売されています。お間違いのないよう、購入ください。

ごみ減量に大切な4つのR、日ごろから意識してみませんか。

① Refuse(リフューズ)：断る

必要のないものは断りましょう。買い物の時のレジ袋を断る、マイタンブラーを持ち歩いて使い捨て容器を断る、まずはごみになるものを断りましょう。



▲リフューズの実践、風呂敷を使ってレジ袋を減らそう!動画も見てね

② Reduce(リデュース)：ごみを減らす

詰め替え容器を選ぶ、最後まで使い切るなどごみを減らしましょう。

③ Reuse(リユース)：繰り返し使う

リサイクルショップを利用する、リターナブルビンを使うなど繰り返し使うことでごみを減らすことができます。

④ Recycle(リサイクル)：再利用する

①から③をやってみても、どうしてもごみになるときは分別することで資源やエネルギーとして再利用することができますが、まずは、リサイクル以外にできることがないか、考えてみましょう。

ミニコラム

プラスチック類ごみは、収集後にリサイクルされています！

狛江市で分別収集されたプラスチック類ごみは、リサイクルされて資源を循環させています。分別収集されたプラスチック類ごみは、加工されて「プラスチックペレット」と呼ばれる粒状の素材となります。プラスチックペレットはごみ袋やハンガーなどのプラスチック製品の原料となります。ペレットから作られたプラスチック製品は、分別収集されることで再びプラスチック製品の原料となります。



正しく捨てられないプラスチックごみが海を汚す？

ポイ捨てなど不適切に捨てられたプラスチックごみは、風で飛ばされたり、細かく砕かれて海に流れ着きます。これらのプラスチックごみが増えることで、海を汚す「海洋汚染」を引き起こします。海に流されるプラスチックごみは年々増えており、2050年には海洋中のプラスチックごみの重量が魚の重量を超えるという試算も出ています。海洋汚染は海の環境を破壊し、多くの生きものやそれを食べる人間に悪影響を及ぼします。

